

## ⑤ プロスポーツチームがもたらす定性的価値の可視化モデルの開発



助教 岡本 雅弘

### 講演資料



# チームBWS 2025年度活動報告

#### 福井大学大学院 竹本研究室

増井 優希 黄 子馨 山口 恭平  
青山 天颯 宇都宮 笙太 國友 大陸  
後藤 健史郎 中野 智貴 平川 大悟

#### 指導教員

岡本 雅弘  
竹本 拓治

#### 共同研究企業

株式会社 ALL CONNECT (オールコネクト)

2026年 1月 20日



# 今年度の活動の流れ

**4月**

- 活動方針の決定
- 役割分担の決定

**5月**

- ファン感謝祭参加
- パブリックビューイング参加
- ブローウィンズ横丁の参加
- BWSとの打ち合わせ（月1開催）

**6月**

- MOT概論でのワークショップ実施
- アンケート場所の選定

**7月**

- アンケートのパイロットテスト
- ロジックモデルの作成
- RESAS資料の作成開始
- アンケート完成



ミーティングの様子



ワークショップの様子



パイロットテストの様子

**8月**

- アンケート実施(8/1~8/201)
- アンケート分析
- 多角形モデル作成

**9月**

- 多角形モデルの完成
- RESAS資料完成・提出

**10月**

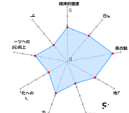
- BWSの試合観戦
- 多角形モデルを用いたBWSの分析

**11月**

- BWS記者会見参加
- りそなNextGenコンテストの資料作成

**12月**

- りそなNextGenコンテストの資料完成、提出
- オールコネクトへの活動報告
- BWSパーク（雄島小学校）の参加



多角形モデル



オールコネクトへの活動報告

## 1. 活動の背景



### 福井ブローウィンズ（BWS）



運営会社：株式会社福井ブローウィンズ  
 設立年：2022年5月  
 拠点：福井県  
 活動場所：セーレン・ドリームアリーナ(福井市)、越前市アイシンスポーツアリーナ、敦賀体育館

オーナー企業：株式会社 ALL CONNECT  
 所属リーグ：Bリーグ(B2)



スローガン：ブローウィンズは、福井をもっとにぎやかな場所にするべく福井の人々の背中を押す存在となる

### クラブ運営事業

|  |   |
|--|---|
| <b>トップチーム運営</b><br>選手の育成や移籍を始め、トップチームの運営       | <b>ホームゲーム運営</b><br>ホームゲームの運営や開催日に実施されるイベントの運営 |
| <b>スポンサーアクティベーション</b><br>選手の育成や移籍を始め、トップチームの運営 | <b>パブリックビューイング</b><br>各市町村の公民館などの公共施設での試合観戦   |

### 地域貢献活動

|   |   |
|---|---|
| <b>アカデミー・スクール運営</b><br>ユースチーム(U-18,U-15)と幼稚園~中学生対象のスクール運営 | <b>運営ボランティア「BLOWINDS CREW」</b><br>ホーム戦運営サポート活動        |
| <b>ブローウィンズ横丁 in Lpa</b><br>福井市内の大型ショッピングモールでの地元飲食店参加型イベント | <b>BLOWINDS PARK</b><br>福井の子どもたちにワクワクを届けることを目的としたイベント |

クラブ運営事業のみならず、福井県の住民・企業を巻き込んだ地域貢献活動を多数展開している

### Point!

福井ブローウィンズは福井県を拠点とするプロバスケットボールチームであり、福井をもっとにぎやかな場所にするべく地域貢献にも尽力している

# 1. 活動の背景

## 福井県が抱える課題

### 福井県民が求める「賑わい」

(問) 特に力を入れて取り組んでもらいたいと思う施策

- 1位：賑わいのある中心市街地をつくる
- 2位：安心して子供を産み育てられる環境を作る
- 3位：全ての人が安心して暮らせる地域社会をつくる

引用：福井県「県都福井の現状と課題」(2025/8/6)

北陸新幹線が開業したものの、福井駅前を拠点とした賑わい創出の評価は「ふつう」が多数  
→県民が何に賑わいを求めているのか不明瞭



## 活動前のBWSへのイメージ



福井県のプロバスケットボールチームとして活動しているのは知っていたが盛り上がっているのかは知らない



友達がBWSの話題を話して聞いて聞くとある

## 現在のBWSへのイメージ



試合ではアリーナ全体での一体感があり、すごく盛り上がっていた



試合以外にも様々な地域で地域貢献活動を行っており、地域に密着したチーム

✔Point!

福井県の付加価値額が都市圏より有意に低い  
福井県の付加価値を引き出しつつ「賑わい」にもアプローチする

4

# 2. SMILE開発理由

## BWSの抱える現状の課題

- スポーツ事業にスポンサーとして関わる企業の多くは、「地域を盛り上げたい」などの定性的な想いを持って投資している



スポーツ事業という事業の特性上、定性的な価値が高い。だが、その価値を定量的に評価できる指標がない

(ヒアリングにて)



➤➤➤ 様々な企業・団体が行なっている活動が地域にもたらす定性的な価値を定量化できていない

## 現状の社会的意義を測ることができるモデル

### 経済波及効果

経済活動が直接の対象だけでなく、その周囲の産業や地域にも広がって影響を算出する指標で、観光振興や経済活性化のインパクトを直感的に伝えることができる

### SROI

事業への投資が生み出す社会的・環境的な価値を金銭的に評価するフレームワーク。投じた資金や活動が生み出した社会的・環境的・経済的な価値を金銭的に換算することができる

➤➤➤ 上記の指標やモデルでは、感情などの定性的なデータは捉えきれず、定量的なデータ(金額)を扱っている

✔Point!

既存のモデルで定量的な価値を、私たちのモデルで定性的な価値を測ることで  
スポーツチームが社会的にどのくらい価値があるのかを網羅的に把握することができる

5

### 3. 定性的価値を定量化するためのプロセス

#### step1 ロジックモデル作成

BWSが福井に与える定性的な影響を漏れなく把握するためにロジックモデルを作成

対象

1. ファン
2. 地域住民・企業
3. 運営
4. 福井県



#### step2 アンケート実施

N=1000を基準として、福井県の人口分布と各市町の年齢分布から必要数を収集



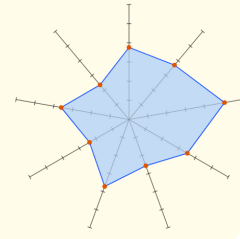
#### step3 分析

二項ロジスティック回帰分析を用いて定性的価値の定量化を行った



#### step4 モデル作成

分析結果からBWSが福井県に与えている影響を可視化したモデルを作成



✔Point!

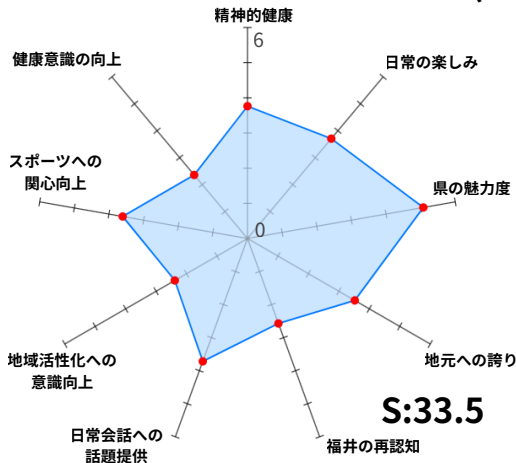
BWSの影響範囲を整理しアンケートデータの分析を実施  
その分析をもとに、定量化モデル (SMILE) を開発

6

### 4. SMILEについて



#### 社会的価値可視化モデルSMILE(Social Model for Invisible Local Evaluation)



「SMILE」モデルは、面積が大きければ大きいほど地域に対して影響を与えていることが視覚的にわかるもの

#### 1. モデルの軸について

- アンケート項目は毎年同じに固定するが頂点の数は変動する場合がある  
面積を計算するときに九角形を基準とした倍率をかける  
ex)八角形の場合、面積比の1.023をかける
- 今後評価の点数の範囲を変えずに10段階評価を使う

✔Point!

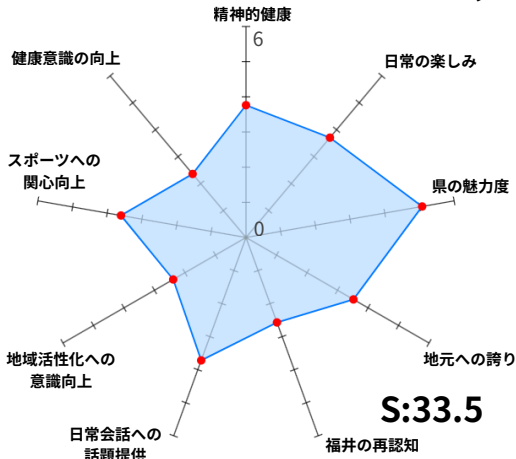
SMILEによって、スポーツの定性的価値を見える化し、  
スポーツチームの社会的意義を明確にすることができる

7

## 4. SMILEについて



### 社会的価値可視化モデルSMILE(Social Model for Invisible Local Evaluation)



#### 2.各点と面積の算出方法

##### 頂点について

中心から各頂点への距離=

アンケート設問の点数の平均値×オッズ比を計算

各頂点は二項ロジスティック回帰分析で有効であった説明変数「オッズ比」は影響力の強さと考えることができる。

ex) 『健康意識』という項目のアンケート点数が高くても、それが『試合を見に行く』という行動に結びついていなければ、プロチームとしてのビジネス価値は低いと言える。

##### 面積について

中心と隣り合う2つの頂点の3点から三角形面積を求め、それを9つ分足した値

各頂点から三角形の面積が求められる。これを全て足し、総面積  $33.46 \approx 33.5$  が算出できる。



Point!

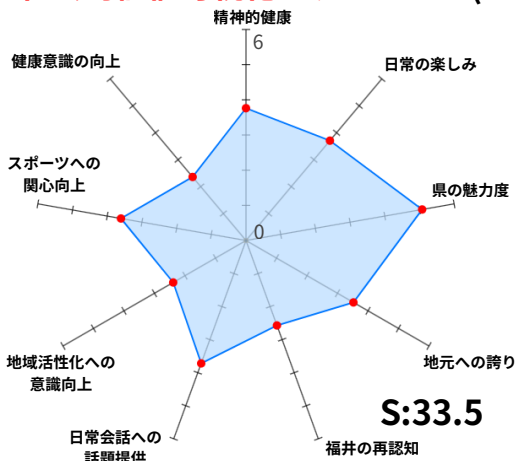
SMILEによって、スポーツの**定性的価値**を見える化し、  
スポーツチームの**社会的意義**を明確にすることができる

8

## 4. SMILEについて



### 社会的価値可視化モデルSMILE(Social Model for Invisible Local Evaluation)



#### 3.視覚化の力：面積が示す「社会的インパクト」

モデルの最大の特徴→『面積』

この多角形の面積が大きければ大きいほど、地域に与える『社会的インパクトの総量』が大きいことを意味する。

また、直感的な比較が可能である。

地域間比較：県内(例：嶺北と嶺南)、県外(例：福井と石川)

時系列比較：今年の面積と、来年の面積を比較すれば、『施策によってどれだけ地域への提供価値が増えたか』などを確認することができる。

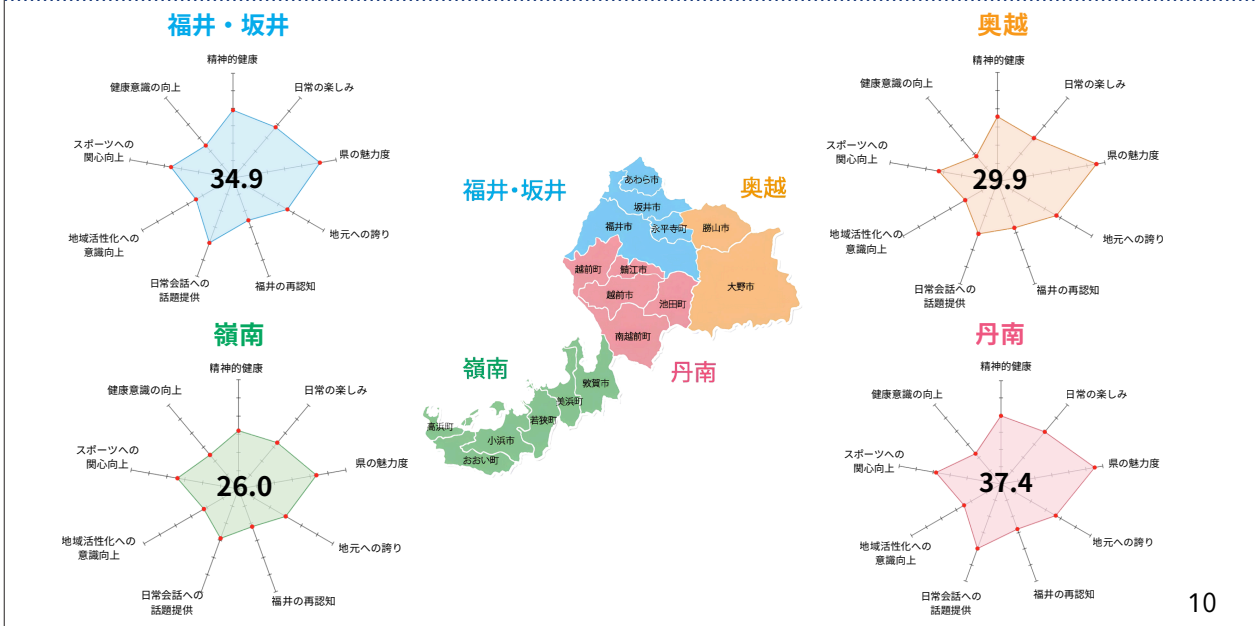


Point!

SMILEによって、スポーツの**定性的価値**を見える化し、  
スポーツチームの**社会的意義**を明確にすることができる

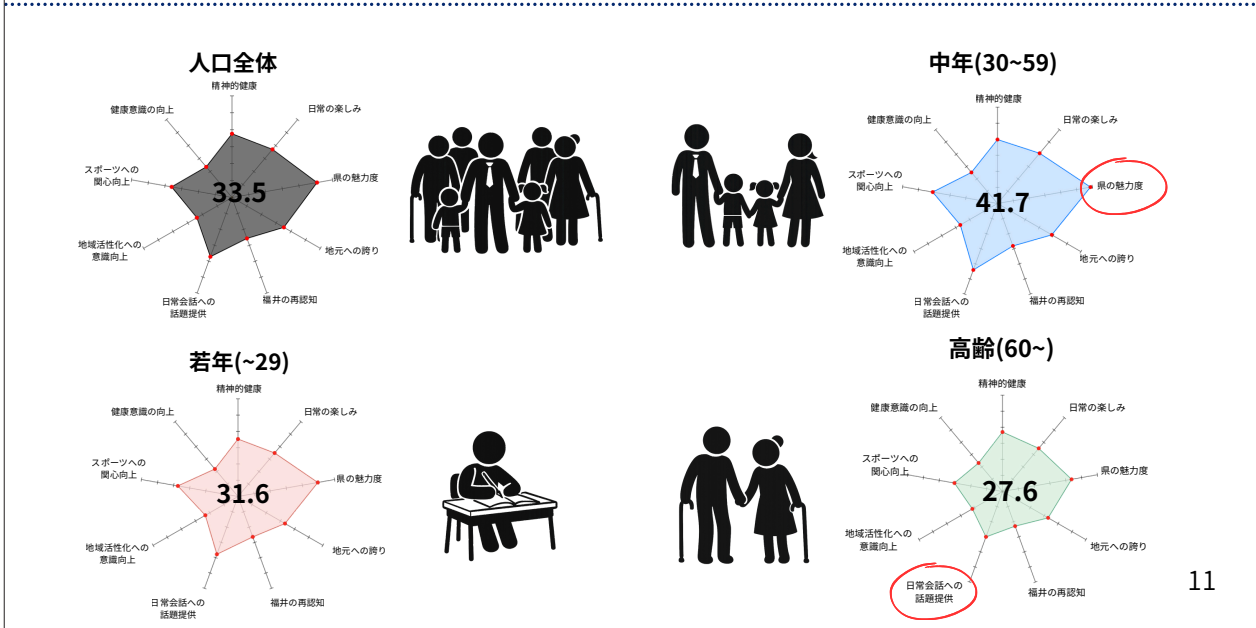
9

## 4. SMILEの活用 地域別での比較



10

## 4. SMILEの活用 年齢別での比較



11

## 5. SMILEが地域に及ぼす影響



### 1. 福井県

意思決定の根拠が強化される  
他部局との連携が進む



### 2. スポンサー

出資の意義が明確化される  
長期的関係の構築



### 3. ファン

応援の意味が深まる  
コミュニティ意識の醸成



### 4. 地域住民

スポーツへの心理的距離が縮まる  
新たな参画機会の創出



#### ✓Point!

SMILEを活用することによって、  
スポーツを中心としたイベントや施策を行うための根拠とすることが可能である

12

## 6. 今後の課題とアウトカム



### 今後の課題

今回は、各市町村・各年代に分けてアンケートを1400件実施した。その結果、SMILEというモデルを作成し、BWSが地域にどれだけ影響を与えているかを示すことができた。

来年度では、スポンサー企業や試合会場、イベントにてアンケートを回収する。また、他チームでも同様にアンケートなどを実施してモデルを作成することで、横比較などを実施できるようにする。



### BWSに与える影響

1. 賑わい創出の見える化として、福井県に与える影響が数値で明確になり、福井にとってBWSの必要性をデータで説明できる。
2. エリア戦略やイベント実施について改善ポイントが感覚ではなくデータで明確になり、影響の偏りを発見することができる。
3. BWSを支援すると地域はこう変わると数値で示せるので新規スポンサー獲得や継続など協賛価値の提示への根拠になる。

13